ほっとレポート

広報レポーター：竹中　あゆみ（原山）

ともされた希望の火
「ゆめ半島千葉国体」開催を前に

毎年秋に開催される国民体育大会。今年は「ゆめ半島千葉国体」と題して、千葉県で開催されます。

前回１９７３年に千葉県で行われた若潮国体以来、38年ぶりの国体の開催に向けて県中が盛り上がりをみせています。

印西市は、正式競技である「山岳競技」とデモスポ行事である「ティーボール」の開催地に決定しており、開催に向けて着々と準備が進められています。

国体開催に先駆け、４月18日に競技会場の松山下公園総合体育館が一般公開されるということで、オープニングイベントを取材させていただきました。

式典会場の体育館の中には、子どもから大人までたくさんの観客が集まっており、また、山岳競技の一つである、リード競技で使われるクライミングウォールがそびえ立っていました。

リード競技とは、高さ12ｍ以上、幅３ｍ以上のクライミングウォール（人工壁）に取り付けられた、ホールドと呼ばれる手がかりや足がかりで作られたルートを登り、その到達高度を競う競技です。体育館の中にこのような施設があるところを、わたしは見たことがなく、その圧倒的な迫力にただ息をのむばかりでした。

▼「まいぎり」で火をおこす子どもたち

▲山岳競技のデモンストレーションでは大歓声が上がりました

式典中、山岳競技千葉県代表の渡辺選手、榊原選手、飯田選手、羽鎌田選手によるデモンストレーションが行われ、颯爽と登る選手の姿を見て会場中が「オオーッ！」という歓声でいっぱいになりました。選手には終始余裕が見られ、途中、腕だけで登るなどといったパフォーマンスを披露。観客を沸かせてくれました。

その姿を見てクライミングをやってみたいと思ったのはわたしだけではないと思います。

お昼には屋外で「炬火採火式」が行われました。採火式に使用する火は「まいぎり」と呼ばれる原始的な道具を使用し、子どもたちが２人１組になって協力しながら火を起こしました。普段なら簡単に点く火も、この道具ではそう簡単には点きません。苦労の末、無事に火が点いた時は大きな歓声があがりました。

聖火を運ぶ永治小学校の児童は、純白の衣装を身にまとっており、その姿はまるでギリシャのオリンピックさながらです。聖火は市長と炬火命名者の佐藤紅実さん（印西中）のトーチに届けられ、二人の火によって聖火が会場にともされました。

炬火名は「新しい市政に燃える希望の火」。

佐藤さんは「印西市が印旛村、本埜村と合併し、新しい市になり、より良い市にしていこうとする希望の火が、みんなの心にもずっと燃え続けていって欲しい」とスローガンを考えたと語りました。

式典にはチーバくんも応援に駆けつけ、国体開催に向けて大いに盛り上がった一日となりました。

本番の10月まであと5カ月。山岳競技を知らなかった人も、国体をきっかけに楽しさを知ってもらえればと思います。

山崎市長（左）と佐藤さんの手で印西市に希望の火がともされました

いんざい思い出写真館

広報レポーター：村形　彰治（小林北）

昭和40年はどんな年だったでしょうか。世界では旧ソ連で二人乗りの人工衛星の打ち上げがあり、初の宇宙遊泳に成功しました。日本では、東名高速道路が全面開通し、千葉県では成田線の電化工事が始まりました。当時の印西町の人口は約１万７千人。もちろん、千葉ニュータウンは影も形もありません。

この年、町に外資系のある工場が進出し、操業を開始しました。上の写真は、当時会社の社員だった人が、近くの山から撮影したものです。

当時、この地域は一面の水田でした。大掛かりな区画整理により埋立てが行われ、その後に工場が完成しました。そのころの様子を撮影者の息子でもある伊藤哲之さんにお話を伺いました。「工場には当時珍しかったテニスコート・プール・卓球施設などがあり、クリスマスには社員の家族が集ってパーティが開かれ、プレゼントを配ったりしていました。それが楽しみでしたね」と少年だった当時を振り返る伊藤さん。また、工場の裏手には水田が残っていて、カエルやザリガニを採って遊んだとのことでした。

そんな思い出が残るこの工場も、45年の歴史に幕を引き、その姿は間もなく見ることができなくなってしまうそうです。

さて、みなさんはこの場所がどこなのか分かりますか。写真で見ると右側に会社の製品である紙コップの形をした貯水タンクが見えますね。これが大きなヒントです。

現在は周囲一面に商店・住宅が並んでいますが、近くにはみなさんも馴染み深い市役所もありますよ。

《４月15日号の解答》

▲答えは「弁天川のほとり」。かつて消防団の掛け声で沸いた川岸は、川めぐりのルートとして親しまれています（右は現在の写真）

文芸コーナー

短歌　加藤恵美子選

窓にみる疎林につどふ山烏こよひは鳴かず雪の降りくる　小倉台　後藤　貞子

三階の窓より見ゆる千波湖の波おだやかに午後の日傾く　大森　服部　富枝

海越えて黄砂降り来るわが街の空の濁りて木々のかすめり　原　菱沼　幸子

唐突に降りくる雪はたちまちに花満開の紅梅おほふ　小林　小田川芳子

春と冬に日々替る空北風に今日はあふられ鯉のぼり耐ゆる　大森　木村　文子

俳句　五十嵐正雄選

昂ぶりしあとの空しさ花疲れ　原山　片岡　芳子

一村の消えて市に咲く山桜　発作　関口千代子

田起しもいつしか終へて春半ば　岩戸　荒木　コト

潟の灯の瞬きそめて蜆汁　原山　入江　葉子

畦を焼くけむり印旛の沼暮るる　内野　葛西　節子

〈短歌・俳句をお寄せください〉

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り（必着）です。投稿は、住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

リサイクル情報広場

掲載情報は４月14日現在
問クリーン推進課クリーン推進班（☎内線333）

◆ゆずります情報（有料の物は希望価格）

▲木製二つ折りタイプすのこベッド（7千円）▲ベビーバス▲千葉商科大学付属高校女子制服（夏・冬服、コート、要相談）▲リクライニングソファ（足のせ付き、要相談）▲犬のハウス▲一輪車（1千円）▲滝野小学校体操服（1千円）▲ローラー付きシューズ（21㎝～23㎝、3百円）▲子ども用男子スーツ上下（2千円）▲子ども用スキーウエア上下と手袋（2千円）▲無駄吠え防止用首輪（小・中型犬用、1万2千円）。

◆さがしています情報

▲きかり幼稚園制服、体操服など▲木刈中学校男子制服（160㎝）▲千葉英和高校男子制服、体操服一式（180㎝）▲犬用乳母車（大型犬25㎏が入る大きさ）▲秀明八千代高校男子制服・体操服・コート・セーター・バックなど（170㎝）▲千葉商科大学付属高校男子制服・体操服・コート・セーター・バックなど（170㎝）。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月５日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバックを持参しましょう。